

株式情報

※2014年8月末日時点

発行可能株式数

7,840,000株

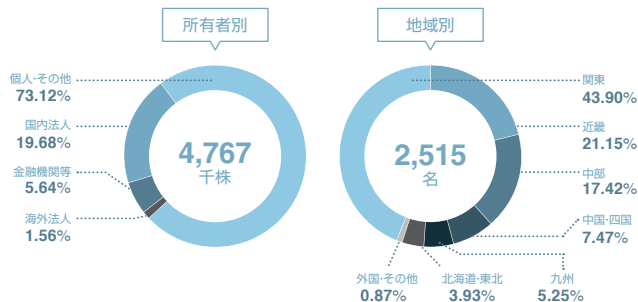
発行済み株式総数

4,767,400株

株主数

2,515名

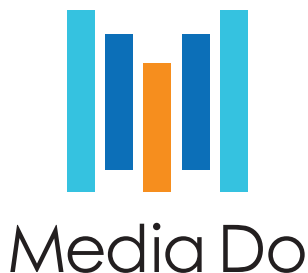
株主分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
藤田 恭嗣	1,804,500株	37.86%
株式会社DGインキュベーション	490,500株	10.29%
大和田 和恵	249,800株	5.24%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	123,300株	2.58%
株式会社小学館	110,400株	2.31%
株式会社講談社	100,000株	2.09%
森 秀樹	91,000株	1.90%
株式会社SBI証券	76,000株	1.59%
寺山 隆一	60,000株	1.25%
溝口 敦	52,400株	1.09%

株主メモ ●上場市場:東京証券取引所マザーズ ●証券コード:3678 ●上場日:2013年11月20日 ●事業年度:3月1日から2月末日まで ●定時株主総会:毎事業年度終了後3ヶ月以内 ●単元株式数:100株 ●基準日:定時株主総会および期末配当は毎年2月末日 / 中間配当は毎年8月31日 (その他必要がある場合は、予め公告する一定の日) ●株主名簿管理人および特別口座管理機関:東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 ●郵便物送付先:〒137-8081 東京都江東区東七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ●電話照会先:0120-232-711 (フリーダイヤル) ●公告掲載方法:電子公告により行います (URL: <http://www.mediado.jp>)。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合、日本経済新聞に掲載して行います。



メディアドゥは、新しいロゴとともにさらにチャレンジしていきます。

メディアドゥは創業以来「モバイル」の進化とともに成長してきました。スマートフォンやタブレット等のモバイル端末の普及に伴う電子書籍市場の急成長は続いており、昨年11月に東証マザーズに上場したことも含め、電子書籍事業を展開するメディアドゥとしての社会における役割と責任は益々大きなものとなって来ていると感じています。そこでメディアドゥは本年7月より、今後は一層飛躍していくためのチャレンジ精神と、それを社内外に明確に打ち出すために、そのシンボルとなるロゴを新しくデザインしました。メディアドゥは、「著作物のデジタル流通」を事

業コンセプトとして、「ひとつでも多くのコンテンツを、ひとりでも多くの人に届ける」ことで著作物の健全な創造サイクルを実現することを目指しております。この事業コンセプトに向けてさらに邁進していくために、メディアドゥがこれまで築き上げてきた事業インフラ、ノウハウや経験、企業カルチャーを土台としながら、「人としての成長と可能性」を最大限に引き出せるような新しい組織、社員一人ひとりが自立し、自己の成長を実感し、それによって自らの可能性を感じることができる、社員自らが率先してチャレンジしていける環境のある新しいメディアドゥを創造していきたいと考えています。

企業理念とデザインコンセプト

シンボルの縦ラインは社員一人ひとりが自立し、考え、クリエイトし、行動していく姿を表現しています。中央のオレンジラインは自分自身です。両サイドのラインが伸びていく形は、社員一人ひとりが理念をいつか心に抱き、たくさんの人々に支えられ、共に成長していく姿を表現しています。自立した自己と、支えられているたくさんの人々との成長と無限の可能性を、シンボルマークのデザインに込めています。

コーポレートカラーコンセプト

ネイビーは海のカラー。ブルーは空のカラー。全ての生命の誕生は海からと言われています。叡智の源とも言えます。誕生の場所であり、風に乗り航海し様々なモノやコトを運ぶ海。同じく世界が一つに繋がっている空です。コーポレートカラーは世界中の叡智をメディアドゥが流通・発信する象徴を海と空のブルーで表現し、オレンジは叡智を育てる太陽、人の心の中にある好奇心を表現したカラーです。

株式会社メディアドゥ
www.mediado.jp

First half of 2015 BUSINESS REPORT

株式会社メディアドゥ 第16期上期株主通信
2014年3月1日～2014年8月31日

株式会社メディアドゥ
www.mediado.jp

証券コード:3678

ひとつでも多くの「コンテンツ」を、ひとりでも多くの人へ届けるために。


Media Do

I Media Do

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

国内の電子書籍市場は、スマートフォン等のモバイル市場の拡大を背景に継続的な成長を続けてきています。特にマンガの分野では「無料」をキーワードとした様々な電子書店サービスが登場してきたこともありユーザーの裾野が更に拡大してきていると思われます。

電子書籍取次、流通を手がける当社にとって、流通量拡大が最も重要な点であり、電子書籍コンテンツ数に加えて電子書籍ユーザー数が増加していくことを期待するとともに、様々な事業展開によってその促進を加速していきたいと考えています。

さらに当社では、順調な国内電子書籍市場における「セル＝販売」領域での事業展開に加え、「レンディング＝貸出」領域でのビジネスとして「電子図書館サービス」の事業展開を開始いたします。電子図書館プラットフォームの世界最大手と言われている米国のOverDrive, Inc.との業務提携によって、国内の電子図書館サービス展開とともに、OverDrive社の海外コンテンツの国内配信、国内コンテンツのOverDrive社を通じた海外配信等をすすめていきます。

当社が電子図書館サービスを展開していく理由はビジネスの側面だけではなく、図書館は基本的な人権として「知る自由」をもつ国民に資料・施設を提供する重要な任務をもつ

ていますが、図書館の利用環境は地域の経済格差によって教育格差にもつながりかねない状況です。そのため、図書館の経済的負担が少なく、利用者の利便性の高い電子図書館サービスを展開することで、少しでも「知」の地域格差無くして行くことに貢献していきたいと考えています。

今後当社は、これまで「セル」向けに開発・運用を続け、様々なノウハウを集積してきた独自のデジタル著作物流通ソリューションに加え、「レンディング」によるサービスインフラを提供していくことで、著作者の数多くの作品をひとりでも多くの人に届けていきたいと考えています。

株式会社メディアドック
代表取締役社長 藤田 恭嗣
Chief Executive Officer Yasushi Fujita

第16期上期ハイライト

Financial Highlights

デジタルコンテンツ流通を取り巻く環境として、携帯電話の契約台数は2014年6月末時点で1億4,106万件(前年同期比5.8%増)、そのうちスマートフォンの契約台数が2014年3月末時点で5,734万件となり、携帯電話契約数全体の47.0%にまで拡大しました。(出所:MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測」2014年4月発表)

また、当社の中核の事業領域である電子書籍市場も、2013年度には1,013億円(含む電子雑誌)まで拡大してきており、さらに2018年までには3,340億円になり、2013年度の2.9倍まで拡大すると予測されています(出所「電子書籍ビジネス調査報告書2014」インプレス総合研究所)。

そのような状況の中、当社は電子書籍事業における既存サービスの積極的業務拡

電子書籍事業が牽引し、売上高、営業利益ともに伸張し、増収増益。

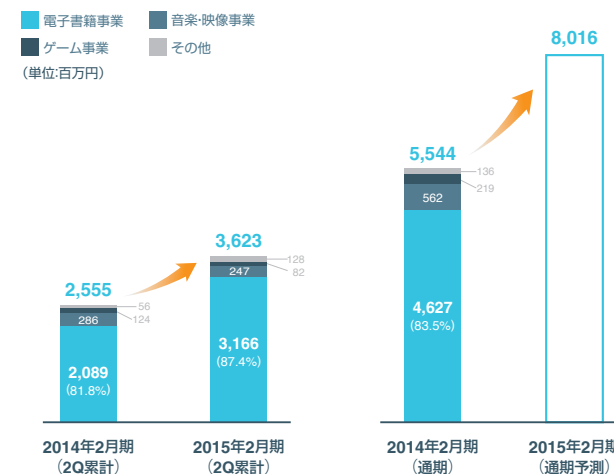
2015年2月期第2四半期累計売上高は前年同期比141.8% 営業利益は前年同期比150.5%

大に進捗するとともに、新たな取り組みとして株式会社ACCESSが開発し、株式会社医学書院が展開するiPad用電子書籍アプリ「iTex(アイテックス)ビューア」を共同企画し、今秋からの本格運用を予定しています。さらに新しい取り組みとして、グローバル展開に向けたスタートを切りました。電子図書館プラットフォームの世界最大手である米国OverDrive, Inc.との戦略的業務提携、電子書籍サブスクリプション(読み放題)サービスを展開する米国Scribd Inc.との戦略提携など、ボーダレスなデジタルコンテンツ流通ネットワークの拡大を進めてきました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、3,623百万円(前年同期比41.8%増)、経常利益は161百万円(前年同期比53.1%増)、四半期純利益は90百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

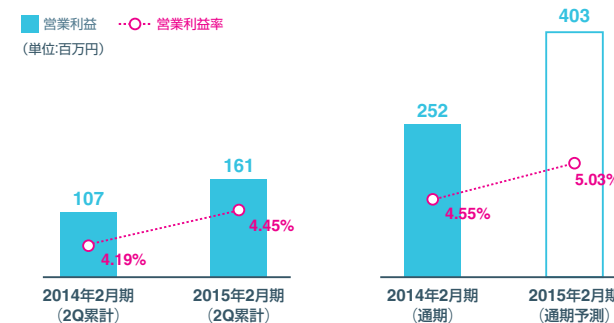
売上高推移

当事業年度第2四半期までの売上高は、累計で3,623百万円(前年同期比141.8%)になりました。電子書籍事業の売上が、前年同期比151.6%と大きく伸張し、全体の売上成長を牽引しました。電子書籍事業の全体に占める割合も前年同期比で5.6ポイント上昇し、87.4%となりました。また、その他売上においても取引先電子書店向けの広告売上が伸張してきており、56百万円から127百万円(前期同期比226.4%)となっております。



営業利益推移

当事業年度第2四半期までの営業利益は、累計で161百万円(前年同期比150.5%)となりました。電子書籍売上の増加に伴い著作権料は増加したものの、広告費(自社電子書店向けの広告出稿)やその他経費の増加を一定範囲内にとどめることができたため、前年同期比で営業利益率が0.3ポイント改善させることができました。



Topics

3月
Mar. **初台へ東京支社を増床移転**
業容拡大に伴い、東京支社を神保町から初台（渋谷区代々木）へ増床移転いたしました。



4月
Apr. **ソフトバンクモバイル「スマートBOOKストア」リニューアル**
ソフトバンクモバイル株式会社と協業運営している「スマートBOOKストア」を大幅リニューアルしました。新たなビューアや決済機能を導入し、よりユーザーの使い易さを向上させました。



5月
May **電子図書館プラットフォーム世界最大手、米OverDrive社との戦略的業務提携に合意**



販売だけでなく貸出においても、電子書籍の流通展開を推進するため、電子図書館プラットフォーム世界最大手、米OverDriveとの戦略的業務提携に合意いたしました。今後両社のシステムインフラを連携することで、日本国内の電子図書館サービス事業を広く展開いたします。

6月
Jun. **ロゴデザインをリニューアル**
今年は当社が、より一層飛躍していくためのチャレンジのステージと捉え、それを社内外に明確に打ち出すためのシンボルとなるロゴを新しくデザインいたしました。



7月
Jul. **第18回「国際」電子出版EXPOへ出展**
昨年に引き続き、「国際」電子出版EXPOへブース出展いたしました。今年は、「電子書籍取次“メディアドゥ”が考える電子書籍の将来像」と題して、LINE マンガやOverDrive、Scribdよりゲストを招いた無料セミナーやトークセッションを公開し、多くの方々から反響を頂きました。



絵本ストア「Toyboo!」(トイブー)を発表

「Toyboo!」は、国内の出版社から発行されているコンテンツに加え、昔話や世界の童話を原作にしたオリジナルコンテンツや、日本未発表の絵本を仕入れ、日本語に翻訳し、販売を行っています。当社のノウハウや、国内外の流通ネットワーク等を最大限に活かした事業です。



株式会社ACCESSと共同開発「iTexビューア」の提供・試験運用開始

株式会社医学書院が提供する、医療系学生向け電子教科書サービス「学書院eテキスト」におけるビューアを、株式会社ACCESSと共同で開発・提供しました。今後はAndroidタブレット、スマートフォン、PCへの展開も行う予定です。



米国電子書籍サブスクリプションサービス「Scribd」へ日本コンテンツを独占的に提供

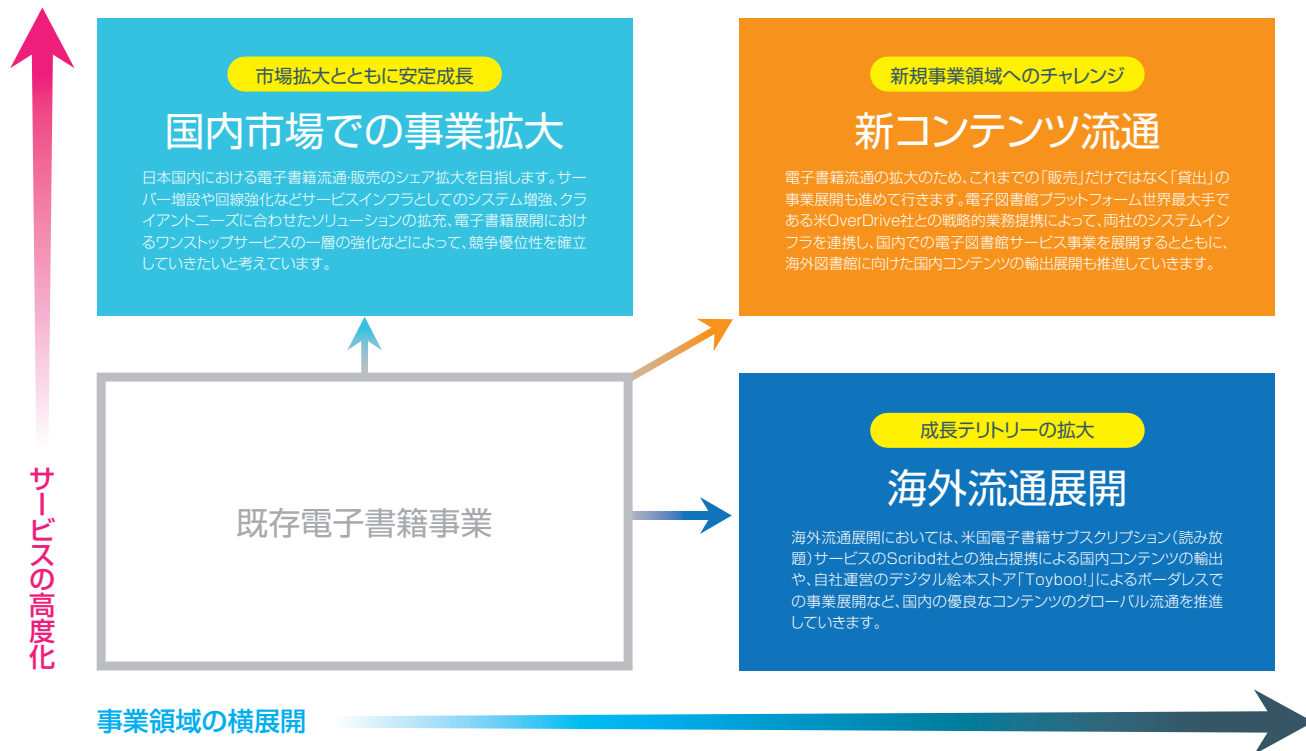


月額8,991円の電子書籍のサブスクリプション（読み放題）サービスを展開し、現在急成長を続けている米Scribd社と、日本コンテンツを独占的に提供する業務提携契約を結びました。海外流通経路の大きなネットワークの一つとして、様々なコンテンツを配信できるよう進めています。

8月
Aug. **本社変更（名古屋本社→東京本社）**
業容拡大のスピードを上げることを目的として、本社を名古屋から東京に移し、東京支社を本社へ変更いたしました。それに伴い名古屋本社は、「名古屋テクニカルオフィス」と名称変更いたしました。

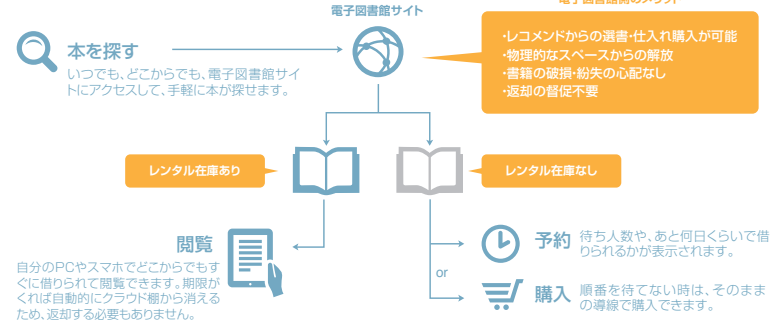
Growth Strategy

当社は、2018年には3,300億円を超えると予想されている電子書籍市場領域を中心とした事業展開を推進していきます。まだ低い水準である国内書籍の電子化率は、今後継続的に成長していくものと見込まれております。その中で当社は次の3つの方向性を今後の成長戦略として考えております。



電子図書館とは？

国内ではまだ馴染みが薄くほとんど普及していない電子図書館ですが、米国の普及率は8割を超えているとも言われています。図書館にとつての運用のし易さ、ユーザーにとっての使い易さ、出版社・書店の売上へのマイナス影響の排除などを考慮した、優れたサービスモデルを実現しています。



貸借対照表

単位:千円)	第15期	第16期	増減額	
	(2014年2月28日現在)	第2四半期 (2014年8月31日現在)		
資産の部				
流動資産合計	2,482,468	3,003,470	521,002	①
固定資産合計	425,553	372,188	△53,365	②
有形固定資産合計	85,183	86,089	906	
無形固定資産合計	169,458	142,113	△27,344	
投資その他の資産	170,911	143,984	△26,926	
資産合計	2,908,021	3,375,658	467,636	
負債の部				
流動負債	1,457,664	1,688,549	230,885	③
固定負債	12,962	9,100	△3,861	④
負債合計	1,470,627	1,697,650	227,023	
純資産の部				
株主資本	1,437,394	1,674,065	236,671	
資本金	776,423	849,463	73,040	
資本剰余金	480,070	553,110	73,040	
利益剰余金	180,900	271,491	90,591	
新株予約権	—	3,942	3,942	
純資産合計	1,437,394	1,678,008	240,613	⑤
負債・純資産合計	2,908,021	3,375,658	467,636	

第16期第2四半期ハイライト

① 現金及び預金が235,757千円、収益拡大に伴い売掛金が297,737千円増加したことによるものであります。② 無形固定資産が27,344千円、投資その他の資産が26,926千円減少したことによるものであります。③ 未払法人税等が52,464千円、返済により借入金が36,268円減少する一方で、売上高増加に伴い買掛金が359,157千円増加したことによるものであります。④ 長期借入金4,560千円を流動負債に振替えたことによるものであります。⑤ 新株予約権行使により資本金および資本剰余金が73,040千円増加したこと、四半期純利益計上に伴う利益剰余金90,591千円の増加によるものであります。⑥ 電子書籍事業が前年同期比51.6%増の3,166,284千円となったことにより、第2四半期累計期間の売上高は前年同期比41.8%増の3,623,066千円となりました。⑦ 収益拡大に伴い、営業利益は前年同期比50.5%増の161,110千円となりました。⑧ 事務所移転費4,354千円等の特別損失6,145千円を計上したことにより、税引前四半期純利益は前年同期比47.3%増の154,902千円となりました。⑨ 売上債権の増加297,737千円がありましたが、仕入債

損益計算書

(単位:千円)	第15期 第2四半期 2013年3月1日から 2013年8月31日まで	第16期 第2四半期 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	構成比 (%)	
売上高	2,555,584	3,623,066	100.0	⑥
売上原価	2,053,318	3,099,367	85.5	
売上総利益	502,265	523,698	14.5	
販売費及び一般管理費	395,191	362,588	10.0	
営業利益	107,073	161,110	4.4	⑦
営業外収益	46	972	0.0	
営業外費用	1,961	1,035	0.0	
経常利益	105,159	161,047	4.4	
特別損失	22	6,145	0.2	
税引前四半期純利益	105,136	154,902	4.3	⑧
法人税、住民税及び事業税	46,629	48,405	1.3	
法人税等調整額	△13,005	15,906	0.4	
四半期純利益	71,512	90,591	2.5	

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	第15期 第2四半期 2013年3月1日から 2013年8月31日まで	第16期 第2四半期 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー (小計)	432,893	346,591	△86,301	
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,081	247,101	△170,980	⑨
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,427	△419,852	△309,425	⑩
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,878	108,508	247,386	⑪
現金及び現金同等物の四半期末残高	328,646	1,212,799	884,152	

務の増加359,157千円、減価償却費113,333千円により営業活動によるキャッシュ・フローは247,101千円の収入となりました。⑩ 差入保証金の回収による収入が31,075千円ありましたが、定期預金の預入による支出300,000千円、有形固定資産の取得による支出64,947千円、無形固定資産の取得による支出65,591千円により投資活動によるキャッシュ・フローは419,852千円の支出となりました。⑪ 新株予約権の行使による株式の発行による収入が145,394千円ありましたが、長期借入金の返済による支出が40,828千円あったため財務活動によるキャッシュ・フローは108,508千円の収入となりました。

会社情報

※2014年8月末日時点

商 号	株式会社メディアドゥ (MEDIA DO Co.,Ltd.)
創 業	1996年4月1日
設 立	1999年4月1日
資 本 金	8億4,946万3,750円
従 業 員 数	116名(正社員99名 アルバイト等17名)
事 業 内 容	・デジタルコンテンツ流通・配信 ・システム開発・提供 ・インターネット広告取り扱い ・メディアコンサルティング
事 業 所	本 社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木四丁目30番3号 新宿MIDWESTビル 5F 名古屋テクニカルオフィス 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内平和ビル 9F 徳島木頭オフィス 〒771-6403 徳島県那賀郡那賀町 木頭和無田字イワツツシ5-23
役 員	代表取締役社長 藤田 恭嗣 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 寺山 隆一 取締役 林 郁 常勤監査役 大和田 和恵 監査役 平尾 周三 監査役 森藤 利明 監査役 堀 泰人

U R L <http://www.mediado.jp>
当社のホームページでも詳しい情報を開示しておりますので、併せてご覧ください。

見直しに関する注意事項 本報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。従いまして、これらの記載内容のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。